

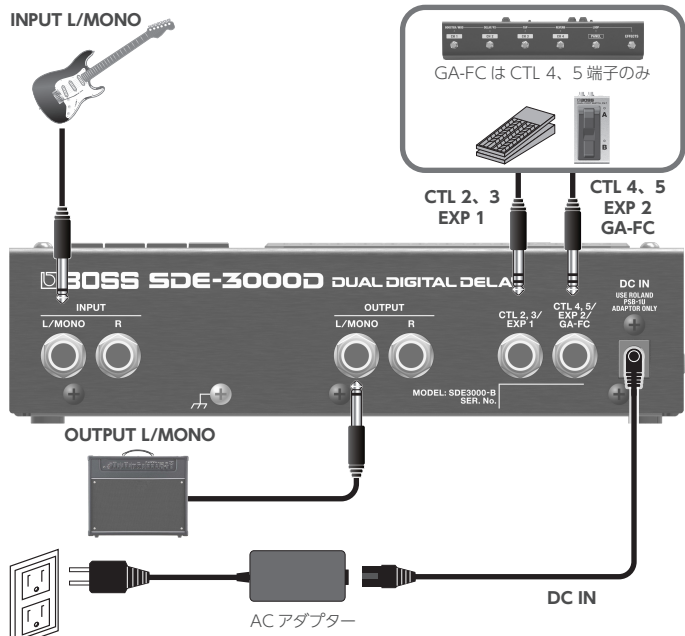
SDE-3000D には、ステレオ仕様に拡張された 2 基のデジタルディレイ（SDE-3000）が搭載されています。DIGITAL DELAY 1（DDL1）／DIGITAL DELAY 2（DDL2）

機器の接続（リア・パネル／サイド・パネル）

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

MONO IN/OUT

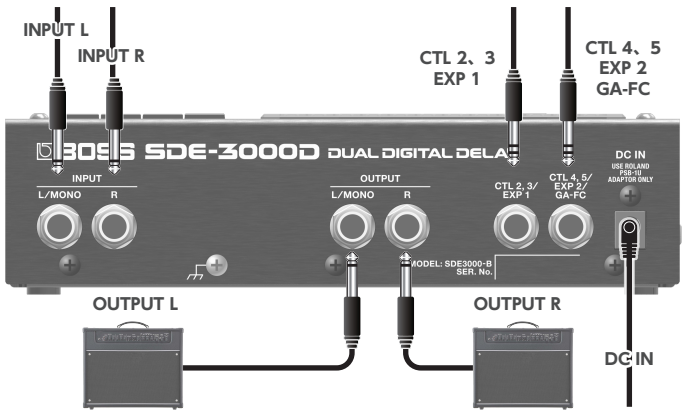
L/MONO 入力、L/MONO 出力でモノ・ディレイになります。



STEREO IN/OUT

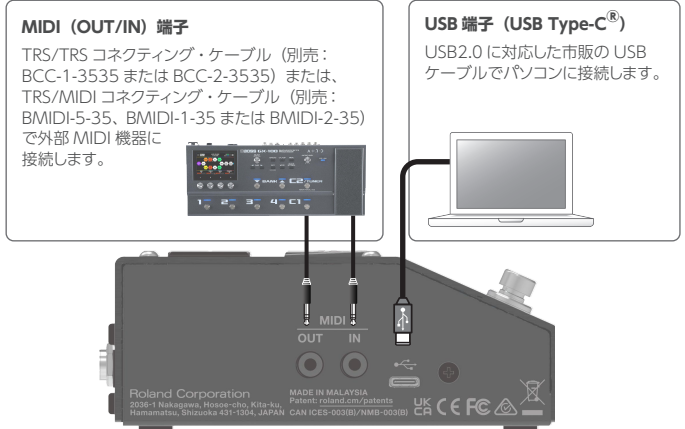
ステレオで入力して、ダイレクト音とエフェクト音がミックスして出力されます。

→ インプット／アウトプット設定の変更については、「本機の設定をする（SETUP）」をご覧ください。



※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

※ 外部アースまたは大地に接地します。必要に応じて接続してください。



※ 充電専用の USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。

電源を入れる

※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

1. DC IN 端子に AC アダプターを接続します。
本機の電源が入ります。
2. 接続した機器 → ギター・アンプの順で、電源を入れます。
 - ※ 電源を切るときは、電源を入れるときと逆の手順で操作します。
 - ※ 電源が切れると保存していないデータは失われます。残しておきたいデータはあらかじめ保存しておいてください。
 - ※ 電源をオフにしたときのバンクとメモリー番号を記憶し、次に電源をオンにするときに呼び出します。

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に別紙の「安全上のご注意」と「使用上のご注意」をよくご覧ください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

プレイ・モード

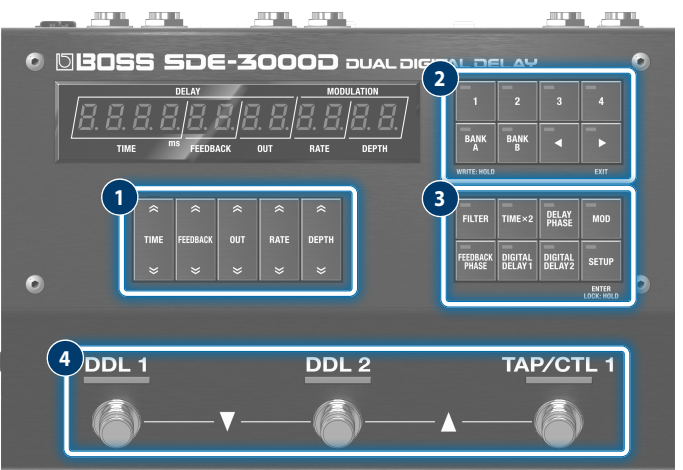
電源投入後の演奏可能な状態を「プレイ・モード」と呼びます。
ディスプレイには TIME/FEEDBACK/OUT/RATE/DEPTH の値が表示され、選ばれているバンクとメモリー番号に応じてインジケータが点灯します。



プレイ・モードで [◀] [▶] ボタンを押すと、表示を切り替えることができます。

表示	説明
パラメーター	設定値を表示します。 バンク／メモリーを切り替えるときは、一時的にバンクとメモリー番号を表示します。
バンク／メモリー	バンクとメモリー番号を表示します。  バンク・メモリー番号

基本操作（トップ・パネル）



エリア	操作子／説明						
1 コントロール	[TIME] ボタン : デレイ・タイムを調節します。 [FEEDBACK] ボタン : デレイ・フィードバック・レベルを調節します。[0] でシングル・ディレイになります。 [OUT] ボタン : デレイ音の出力レベルを調節します。 [RATE] ボタン : デレイ・モジュレーションの揺れの周期を調節します。 [DEPTH] ボタン : デレイ・モジュレーションの深さを調節します。[0] でモジュレーションがオフになります。 メモ 各ボタンを長押しすると、急速に変化させることができます。						
2 メモリー	[1] ～ [4] ボタン : メモリーを選びます。 [BANK A] ボタン ／ [BANK B] ボタン : メモリー・バンク A / B を切り替えます。 [FILTER] ボタン : デレイ・フィルター。エコーとして、使用しているとき、自然な効果が得られます。 [TIME x 2] ボタン : デレイ・レンジを切り替えます。 <table><tr><th colspan="2">ディレイ・タイム</th></tr><tr><td>オフ (x 1)</td><td>0 ～ 1500ms</td></tr><tr><td>オン (x 2)</td><td>0 ～ 3000ms</td></tr></table> [DELAY PHASE] ボタン : デレイ音の位相を反転させます。 [MOD] ボタン : モジュレーションをオン／オフします。 [FEEDBACK PHASE] ボタン : デレイ音のフィードバックの位相を反転させます。 [DIGITAL DELAY 1] ボタン (DDL1) / [DIGITAL DELAY 2] ボタン (DDL2) : DDL1 と DDL2 のパラメーター表示を切りかえます。 [SETUP] ボタン : システム・パラメーターを設定します。また、ボタンの長押しでロックのオン／オフができます。ロック中は他のボタン操作が無効になります。 [DDL 1] スイッチ / [DDL 2] スイッチ : DIGITAL DELAY 1/2 をオン／オフします。 [DDL 1] スイッチと [DDL 2] スイッチを同時に押すと、ひとつ前のメモリーを選びます。 [TAP/CTL 1] スイッチ : スイッチを押す間隔でディレイ・タイムが設定できます。また、SETUP でアサインされた機能を使うこともできます。 [DDL 2] スイッチと [TAP/CTL 1] スイッチを同時に押すと、次のメモリーを選びます。	ディレイ・タイム		オフ (x 1)	0 ～ 1500ms	オン (x 2)	0 ～ 3000ms
ディレイ・タイム							
オフ (x 1)	0 ～ 1500ms						
オン (x 2)	0 ～ 3000ms						
3 ディレイの設定							
4 スイッチ							

本機の設定をする（SETUP）

システム・パラメーターを設定します。
ここでは、IN/OUT 設定の変えかたを例に説明します。

1. [SETUP] ボタンを押します。



ディスプレイに設定項目が表示されます。



2. [SETUP] (ENTER) ボタンを押します。

ディスプレイに「out」と表示されます。



メモ

その他の設定項目は、[TIME] ボタンを押して選びます。
詳しくは、『リファレンス・マニュアル』（Web）をご覧ください。

3. [DEPTH] ボタンで設定値を変更します。



パラメーター	設定値／説明
[TIME] ボタン	[DEPTH] ボタン
out (Output Setting)	50ErEo (STEREO) : ステレオ入出力のディレイです。 d irEFil (L: DIR/R: EFX) : L チャンネルからダイレクト音、R チャンネルからディレイ音出力されます。 d irFluTE (DIRECT MUTE) : ダイレクト音がミュートされます。

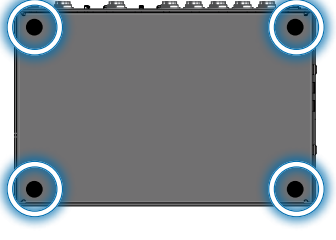
4. 設定を終了するときは、[▶] (EXIT) ボタンを数回押してプレイ・モードに戻ります。

メモリーを保存する（WRITE）

1. [BANK A] (WRITE) ボタンを長押しします。
ライト・メニューが表示されます。
2. [SETUP] (ENTER) ボタンを押します。
3. 書き込み先を変更するときは [DEPTH] ボタンでメモリー番号を選びます。
中止するときは、[▶] (EXIT) ボタンを押して、ライト・メニューに戻ります。
4. [BANK A] (WRITE) ボタンを押して、メモリーを保存します。
保存が完了すると、書き込み先のメモリーに変わり、プレイ・モードに戻ります。

ゴム足の取り付け

ゴム足（付属）は、必要に応じて取り付けてください。
ゴム足は図の位置に貼り付けます。
※ ゴム足を取り付けないまま本機を使用すると、床を傷付ける恐れがあります。
※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。



リファレンス・マニュアル（Web）

本製品の詳しい操作マニュアルは以下のサイトでご覧いただけます。
https://roland.cm/sde3000d_om

